

6月、例年に比べ少
雨で、定植した野菜に
水やりが大変との声が
聞こえてくるが、地域
で効果確認との情報が
気になる。がん細胞に
は色とりどりのルピ
ナス(ノボリフジ・昇

フリー便風 (現場)からの

宮田 守男

り藤)が咲き誇る。チヨウに似た小花が咲き上がる様子がフジを逆さまにしたような花だ。古くは、食料、肥料として利用された。

寒冷地では宿根草として毎年雄大な花を咲かせるが、耐暑性が弱く、温暖な地域では一年草として扱われている。自然に地域に広がる花の特性をぜひ活かしてほしいと思っている。

5月下旬、ヤフー
ニュースに東芝と信州
大学の、ガンにだけ届く遺伝子治療、マウス
業用水路が白濁。姫川

だけ取り込まれる遺伝子治療薬の効果をマウスの実験で確認したところは、「ガン指向性リボソーム」という、がん抑制遺伝子を内包した脂質膜のカプセル(リボソーム)。がん

自然現象から地域を考える事も大切だ

安全確認は
重要な作業

50cm、長さ約100cm
の斜面崩壊が原因では
ないかと分析をし「す
ぐに大規模な斜面崩壊
や土砂災害につながる
可能性は低い」とした。
白濁水の発生源がこの
付近などの情報だが、
今後どの様な情報が出て
くるのか興味深いの

支流の松川本流も白濁。地域住民からは、河川敷内で温泉自噴か、との話題で盛り上がり、国土交通省松本砂防事務所などがへりコブターで調査したところ、松川上流部の湯ノ入沢付近で幅約

だけ取り込まれる遺伝子治療薬の効果をマウスの実験で確認したところは、「ガン指向性リボソーム」という、がん抑制遺伝子を内包した脂質膜のカプセル(リボソーム)。がん

5月下旬、ヤフー
ニュースに東芝と信州
大学の、ガンにだけ届く遺伝子治療、マウス
業用水路が白濁。姫川

ある事象には、これまで以上の注意力と、住民の視点にあった対応が求められる。感染症で混乱する困難の時だからこそ、目の前に



松川北股左岸の山からの崩落が
河川を塞ぐか心配になる

(NPO法人信州地域
社会フォーラム会員)